

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	危機管理室特命主幹 保谷 俊章		
		主管課(関係課)【2】	危機管理室(道路管理課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
安2-2 防犯・交通安全の推進		安全な暮らしのために	安全で快適に暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	防犯については、社会構造の変化に対応するため、自治会・町内会などの地域コミュニティや市民防犯組織への支援、連携に取り組み、地域の防犯体制を強化する必要があります。 交通安全については、交通環境の変化に対応するため、市民、学校と連携して交通弱者である子どもの安全に力を入れることが重要です。		・市民活動団体への支援 ・市民、学校、行政が連携した防犯、交通安全への取組の強化	防犯や交通安全を推進し、安心して暮らせるまちづくりを進めます	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
特になし					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	市民と連携して防犯体制の強化を図ります	市民と連携した防犯体制の強化		
	2	市民と連携して交通安全の推進を図ります	市民と連携した交通安全の推進		

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「地域パトロール強化などの防犯対策」の市民満足度							
		算出式・説明	青色回転灯装備車両によるパトロールを継続実施することで、市民自身が犯罪防止を意識して行動するようになり、地域の防犯対策が浸透していきます。市民意識調査によって、防犯対策の浸透度合いや効果を測ることができます。							
		目標値	32%				単位	%		
		実績値	20.9	20.9	20.9	24				
		達成率	65%	65%	65%	75%				
	指標2	名称	刑法犯の発生件数							
		算出式・説明	市民と相互に連携して防犯活動を行うことで、犯罪に対して強く、安全なまちになります。その結果、刑事事件の発生件数は減少することになります。							
		目標値	2,500件				単位	件		
		実績値	2978	2766	2386					
		達成率	84%	90%	105%	0%				
	指標3	名称	街路灯の整備数							
		算出式・説明	夜間の道路交通安全及び防犯対策のため、市内の道路上の街路灯を整備し、安全でかつ快適な市民生活環境の向上を図ります。							
目標値		132箇所				単位	箇所			
	実績値	132	176	226						
	達成率	100%	133%	171%	0%					
指標4	名称									
	算出式・説明									
	目標値					単位				
	実績値									
	達成率									
達成率の平均値			83%	96%	114%	25%				

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度			
満足度(%)	20.9%	満足度(%)	24%	満足度(%)	
満足度(平均ポイント)	-0.39	満足度(平均ポイント)	-0.26	満足度(平均ポイント)	
重要度(%)	88.2%	重要度(%)	84.7%	重要度(%)	
重要度(平均ポイント)	1.53	重要度(平均ポイント)	1.41	重要度(平均ポイント)	

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		<p>◇防犯体制の強化については、青色回転灯装備車両によるパトロールを毎日実施するとともに防犯市民組織を支援することで、市民の防犯意識の高揚を図っていますが、防犯市民組織の数は伸び悩んでいることが課題です。</p> <p>◇街路灯の整備については、市民や小学校PTAの要望に対して20W蛍光灯を32W蛍光灯に交換するなどの照度アップを行い、安全でかつ快適な市民生活の向上を図りました。</p> <p>◇道路反射鏡及び区画線等の設置については、市民や小学校PTAの要望に対応することで、安全でかつ快適な市民生活環境の向上を図りました。</p>		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		<p>◇防犯体制の強化については、関係機関との連携や情報の共有、各種媒体を活用した情報提供により引き続き意識啓発を行い、自分のまちは自分で守る市民意識の向上を図っていきます。</p> <p>◇街路灯の整備については、引き続き市民からの新規設置や照度アップ等の要望に対応していきます。</p> <p>◇交通安全施設についても、引き続き市民要望に対応していきます。</p>		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	防犯・交通安全の推進については、警察と役割分担しつつ連携して対応すべき分野であり、これまで本市では、パトロールの実施や防犯市民組織の支援による防犯体制の強化を図るとともに、街路灯や道路反射鏡・道路区画線等の整備を進めてきており、特に街路灯については、市民要望の高まりを踏まえ、当初の計画目標を大幅に超えて整備を進めているところです。 市民意識調査では、満足度が低く重要度が高いという結果となりましたが、引き続き警察との連携と役割分担の中で、市の果たすべき役割について、現状の計画ベースを維持し、着実な事業推進を図っていくことが妥当と判断しました。
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

安2-2 防犯・交通安全の推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	安心安全なまちづくりの推進	危機管理室	犯罪のない安全なまちづくり条例に規定する市民等の防犯意識の高揚、防犯に関する情報の収集及び提供、市民等の自主的な活動に対する支援及び関係機関との連携体制を構築します。
	街路灯の整備	道路管理課	夜間の道路交通安全及び防犯対策のため市内の道路上に街路灯を整備しています。
2	道路反射鏡、道路区画線等設置	道路管理課	市民要望や車両の通行状況により、道路反射鏡や区画線などの交通安全施設を整備し、交通事故防止及び歩行者や自転車の安全を図っています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
8,407	7,599	808	改善・見直し (平成19年度)	中	市内の防犯ネットワークにより、地域の防犯力の向上が図られ、犯罪が減少できます。
15,253	13,637	1,616	—	—	街路灯を整備することで安全で且つ快適な市民生活の向上を図ることができますようになります。
15,113	13,497	1,616	継続実施 (平成20年度)	中	交通安全施設を設置することで道路交通の円滑化を図るとともに、交通事故を未然に防ぐことができますようになります。
38,773	34,733	4,040			